

大規模災害時における傷病者等の搬送に関する協定を締結



左から小谷理事長、中山市長、喜多徳島支局長

2月22日、「大規模災害時における傷病者等の搬送に関する協定」を一般社団法人全民救患者搬送協会と締結しました。

大規模災害発生時において、救急車両が不足している状況下などに、市の救急業務の補完的な役割として、協会に所属する民間救急車両および看護師等の出動により、傷病者等の搬送・移送業務を行うものです。

当協会は全国に24社の正会員を持ち、過去に発生した東日本大震災や熊本地震でも被災地での支援実績があります。

「民間救急車両はフットワークの軽さが強み。大規模災害などでは、被災地での救急搬送がストップしてしまうため、官民一体となった広域での災害支援が必要となる。一人でも多くの市民を助けられるよう協力したい。また、今回の協定は市町村では初めてとなる。災害支援のモデルケースとして全国に発信したい。」と、理事長の小谷哲司さんは話されました。

令和4年度小松島市自衛隊入隊・入校激励会を開催

2月25日に自衛隊入隊・入校激励会が小松島みなど交流センターkocoloで開催されました。

今年は小松島市から2名がそれぞれ自衛隊に入隊、防衛大学校に入校されることとなり、当日は自衛隊に入隊する東 太陽さんが出席され、自衛隊および家族会の関係者や本市の関係者、ご親族の方などから激励を受けました。

自衛隊に入隊する東 太陽さん
(写真右から3人目)

和田島地域資源保全会が優秀賞を受賞 『多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰』

和田島地域資源保全会は、多面的機能発揮促進事業の取り組みとして、地区内の農地や水路・農道等の保全管理を行うとともに、共同活動において教育機関と連携し、地元小学校高学年を対象とした農業体験活動および保育園と連携した植栽活動や農業用イベントなど創意工夫した活動を展開しています。

こうした活動が地域コミュニティの形成に繋がっているものとして高く評価され、『多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰』の優秀賞を受賞しました。

観光ボランティアガイド功労賞を受賞

3月14日、令和4年度「観光ボランティアガイド功労賞」の表彰式が徳島県庁で行われ、NPO法人小松島市観光ボランティアガイド協力会の皆さまが功労賞を受賞されました。

観光ボランティアガイド功労賞とは、県内において、それぞれの地域や団体の特性等を活かし、多年にわたり観光案内・ガイド活動を積極的に行い、観光客のホスピタリティ向上に寄与している個人や団体を表彰しているものです。

当協力会の岡久 正理事長は「平成28年のNPO法人設立以来、市の観光振興に携わってきた。今後、アフターコロナで、豪華客船の寄港や四国88か所霊場巡りなど、外国の観光客も増えてくる。国内外のみではなく、世界各国に小松島市の魅力をPRしたい。」と意欲を述べられました。



表彰式の様子

令和4年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 表彰式



表彰式の様子

「『自分たちができる事』を、楽しみながら積み重ねてきた結果が評価され、大変光栄に思います。今後も若い世代に引き継いでもらえるように活動を続けていきたい。」と代表の井村 保裕さんは語られました。